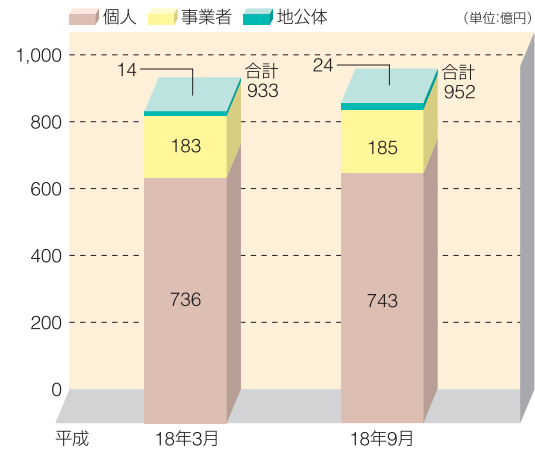


大田原信用金庫と地域社会との関わり

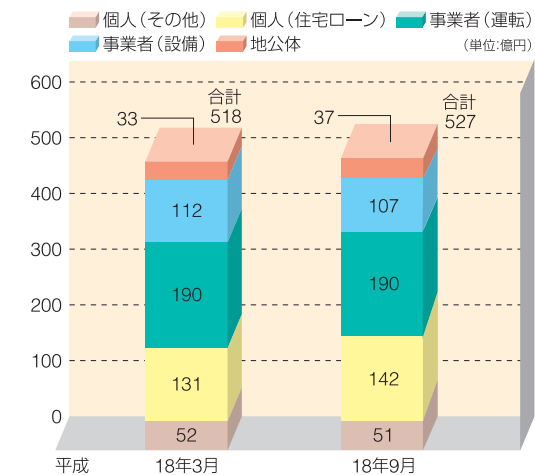
(平成18年度上半期 地域貢献に関するディスクロージャー)

地元のお客様からお預りした大切な預金は、地元で資金を必要とするお客様にご融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするるとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や地域住民との強い絆とネットワークを形成し、地域社会の持続的発展に努めております。

預金残高構成の推移



貸出金残高構成の推移



地域経済活性化に向けた取組

● 経営支援部隊

当金庫は、地域内企業活性化のお手伝いをするため「経営支援部隊」を組織し、経営相談、財務分析、情報提供等を積極的に行なっております。窓口等へお気軽にご相談ください。

〈18年度上半期の主な取組み内容〉

支援企業16社を選定し、経営改善等の取組みについてサポートを実施しております。

● だいしん経営塾

当金庫取引先の経営者で組織している「だいしん経営塾」では、参加企業の業績向上と地域社会の発展に貢献する目的で設立され、定期的に勉強会、経済講演会、情報交換等を行なっております。年1回の経済講演会では日本の経済界を代表する講師を招き、参加企業以外の一般の方の参加も多数あり好評を得ております。

〈18年度上半期の主な取組み内容〉

5月、7月、9月に定例勉強会を開催しました。

● 信樹会

若手経営者で組織する「信樹会」では、定期的に勉強会、経済講演会等を開催し、会員の経営能力の向上や会員企業の業績向上に努めております。

〈18年度上半期の主な取組み内容〉

5月「栃木話し方センター」所長を講師に招き、研修会を開催しました。

7月 信樹会総会を開催しました。

● だいしん会

営業店単位で組織し、勉強会や情報交換等を定期的に開催しております。

〈18年9月現在のだいしん会組織店舗〉

黒磯支店・西那須野支店・東那須野支店

● 年金友の会

当金庫に年金振込を頂いているお客様を対象に「年金友の会」を組織し、年金相談や粗品のプレゼントなどの提供を行なっております。

● 諸行事への参加

当金庫は、地域の諸行事に積極的に参加し、地域の皆様とのコミュニケーションを大切にしております。

〈18年度上半期の主な参加内容〉

4月 大田原市屋台祭りに参加しました。

6月 ロータリー主催の地域清掃活動に参加しました。

7月 献血活動を実施しました。

児童向け夏休み学習教室を実施しました。

西那須野ふれあい祭りに参加しました。

8月 大田原市与一祭りに参加しました。

大田原信用金庫 ミニディスクロージャー 2006.9

たくさんのお客様との
ふれあいを大切にしたい
そんな願いをこめて

経営方針

- ①地域社会繁栄の奉仕と共に信頼と協力に応える。
- ②中小企業の健全な育成発展に貢献する。
- ③公共性、信頼性、収益性を基本に健全経営に努力する。

金庫の概要

代表者 理事長 鈴木邦男

所在地 栃木県大田原市中央1丁目10番5号

TEL 0287-24-2266

FAX 0287-22-5102

当金庫は、昭和3年有限責任大田原町信用組合として発足し、昭和27年信用金庫法に基づき大田原信用金庫に組織替え、以来順調に発展を続けてまいりました。

平成18年9月末

預金残高	95,244百万円
貸出金残高	52,732百万円
出資金	457百万円
会員	18,517人
役員員	126名
事業内容	金融業
事業所	栃木県北9店舗

栃木県北9カ店のネットワークで
キメ細かいサービスをお届けいたします。

- 本店 TEL0287-22-3130
- 東那須野支店 TEL0287-65-2031
- 黒磯支店 TEL0287-62-0678
- 美原支店 TEL0287-22-3800
- 西那須野支店 TEL0287-36-1255
- 南支店 TEL0287-23-7650
- 黒田原支店 TEL0287-72-1131
- 矢板支店 TEL0287-43-4646
- 野崎支店 TEL0287-29-1221

シンボルマークの由来

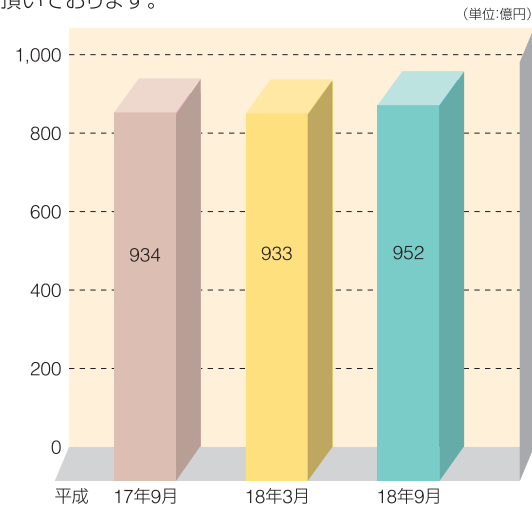
シンボルマークは大田原信用金庫の頭文字《O》と信用金庫の頭文字《S》を組み合わせてデザイン化したもので、宇宙空間的な円の構成で表現してあります。大きな円は大田原の《O》、小さな円は信用金庫の《S》を含む天体です。またこの《S》にはお客様のサクセス(成功)と私達のサービス(奉仕)の精神の意味も含まれております。

大田原信用金庫
だいしん
〒324-0056 栃木県大田原市中央1丁目10番5号
TEL0287-24-2266 FAX0287-22-5102

<http://www.ohtawara-shinkin.co.jp/>

預金残高の推移

預金残高は、上半期で約19億円増加し、952億円となりました。個人預金を始め順調に増加し、多くの皆様からご支持を頂いております。



有価証券の状況

ご融資以外の余剰資金は、安定性の高い債券を中心に堅実に運用しております。

〈満期保有目的〉

有価証券の区分	帳簿価格	評価損益	
		うち益	うち損
その他(外国証券)	71	△2	1

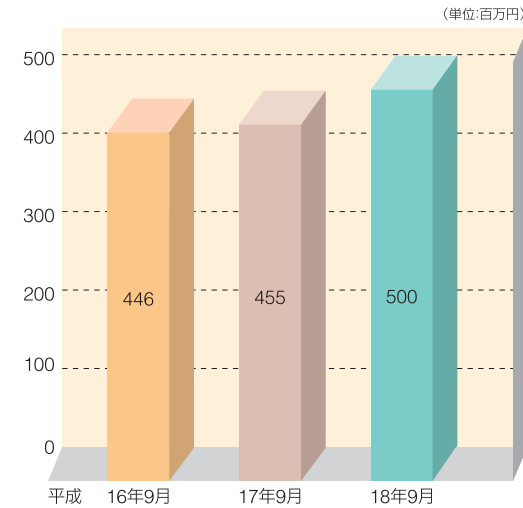
〈その他保有目的〉

有価証券の区分	時価	評価損益	
		うち益	うち損
債券	166	0	1
株式	14	4	4
その他	83	1	3
合計	263	7	3

注意 1.18年9月末現在のものであります。
 2.有価証券の区分の「その他」には外国証券のほか投資信託等が含まれております。
 3.満期保有目的の帳簿価格は償却原価法を採用しております。
 4.その他保有目的の株式には時価のない有価証券9百万円が含まれております。

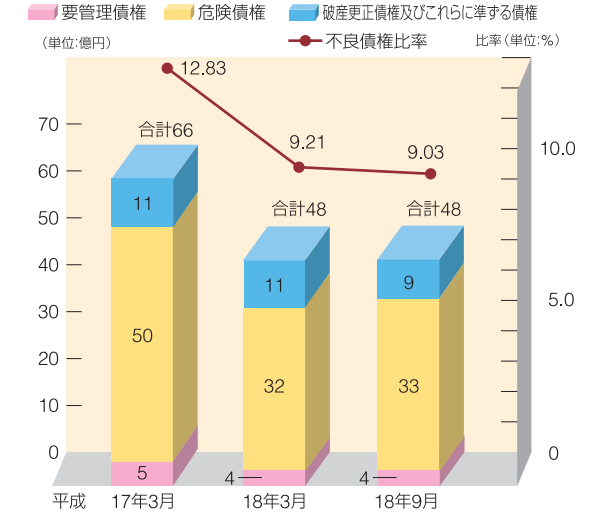
業務純益の推移

貸出金利息、有価証券利息や配当金、手数料収入といった信用金庫本来の収益を表す業務純益は、順調に増加しております。



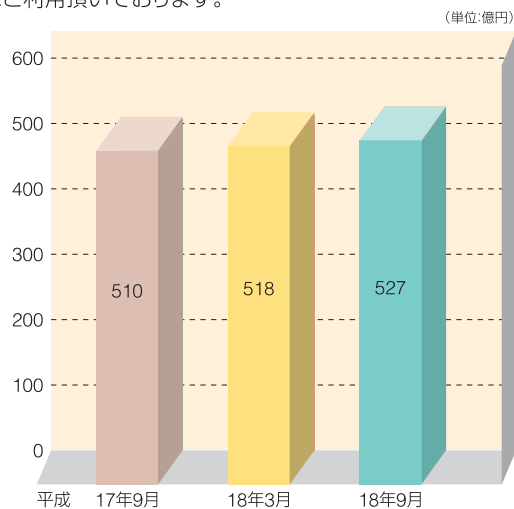
不良債権の推移〔金融再生法ベース〕

不良債権比率は、厳正な資産査定のもと適切な償却等を進めた結果、着実に減少しております。



貸出金残高の推移

貸出金残高は、上半期で約9億円増加し、527億円となりました。住宅ローンが順調に伸びており、多くの地域住民の皆様にご利用頂いております。



業種別貸出残高の内訳

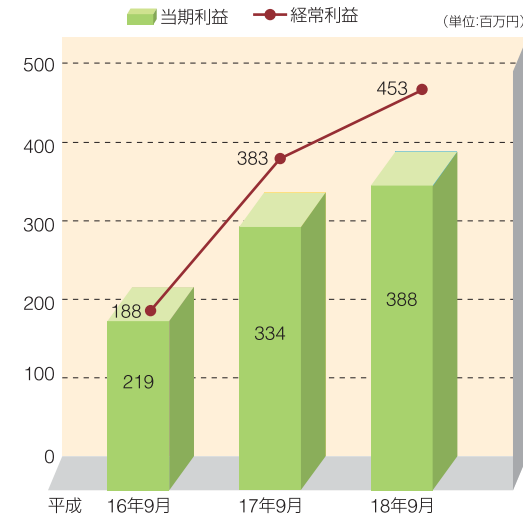
貸出金は、特定の業種に偏ることなく、様々な事業を営むお客様にご利用頂いております。

平成18年9月末現在

業種	先数(件)	残高(億円)	構成比(%)
建設業	377	56	10.63
製造業	201	49	9.30
卸売・小売業	286	53	10.06
不動産業	70	42	7.97
サービス業	415	77	14.61
その他	89	17	3.23
地方公共団体	6	37	7.02
個人	4,947	193	36.62
合計	6,391	527	100.00

経常利益・当期利益の推移

経常利益、当期利益とも、効率的な経営により順調に増加しております。



自己資本の推移

自己資本比率は、金融機関の健全性を表す重要な指標です。当金庫は、国内基準の4%を大きく上回る12.99%を確保しております。

